

新春号

# 議会から こんにちは

2018

1.1

平成30年



笹川むもん氏作

 さの  
市議会だより

■特集

年頭の決意

—市議会議員、今年の抱負を語る—



あけまして  
おめでとう  
ございます

- ① 所属会派
- ② 住所
- ③ 自宅電話番号
- ④ 今年の抱負

① 政友みらい  
② 植野町 2138-11  
③ (24) 2840  
④ 佐野市は観光・スポーツに加え、新たなリーディングプロジェクトとして産業・文化立市を掲げました。昨年は4つ目のスマートインター開設が決定し、11月には東西南北に走る高速交通網に恵まれた立地を生かした「内陸の港」佐野インランドポートが開港しました。また、全国山城サミットでは1万人が来場し国指定史跡唐沢山城跡の歴史ロマンを堪能しました。今年も引き続き、佐野市の魅力を掘り起こし、新たな佐野市創造に繋げてまいります。



議長

井川 克彦

① 公明党議員会  
② 大橋町 3173-5  
③ (23) 2100  
④ 本市の最大の課題は人口減少問題です。子育てや教育の充実はもちろん、若者の結婚や定住促進が大変重要です。今後もシタイプロモーションを積極的に推進するとともに、国際クリケット場や天明鋳物等の本市特有の資源を活かした都市ブランド化を図り、交流人口と定住人口の増加を目指してまいります。また、医療・福祉の充実、活力あるまちづくりの推進、安全・安心のまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。



副議長

本郷 淳一



慶野 常夫

① 政友みらい

② 下羽田町 1025

③ (23) 8662

④ 唐沢山の全国山城サミットは盛大に行われ、交通拠点都市の実現・雇用の創出及び地域経済の活性化を目指すインランドポートの開所など、本市が発展成長しております。

市民の皆様が、明るく元気に生活を送れるよう、お一人お一人の意見を聞き、考え、市政に提案し「笑顔あふれる佐野市」を目指し取り組んでまいります。



川嶋 嘉一

① 政友みらい

② 関川町 906129

③ (24) 6578

④ 「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき定住促進を推進し、市民と行政の協働をテーマに市民のために働きまします。また、高齢者福祉、子育て支援体制の充実と女性の社会進出と活躍を推進します。そして、自然災害が少ないまちとしての特性を活かし、安全・安心なまちづくりに取り組みます。併せて、私のライフワークである教育問題にも取り組み、教育環境の充実と明日を担う子供達や人材の育成に努めてまいります。



菅原 達

① 公明党議員会

② 堀米町 11015

③ (21) 5603

④ 近隣市も羨む佐野市。本年以降も様々計画される事業がその勢いを象徴してはいますが、見目の華やかさに目を奪われることなく、「何のための事業なのか」を問い、佐野市の発展を市民の暮らしの向上にも、他市からの移住を含めた若い世代の定住にも、繋げていかななくてはなりません。そして、「一人一人が元気」であることが勢いの象徴である、と言われるよう、「真に元気な街」を目指してまいります。



木村 久雄

① 公明党議員会

② 閑馬町 1 0 0 1

③ (65) 1 7 2 9

④ 急速な進行の様相をみせる人口減少や少子高齢化の影響により、医療・福祉の充実や、子育て・保育・教育環境の充実、そして、安全・安心な住環境の整備等の変革の必要性が高まってきております。私は、市民生活の更なる向上を図るために、皆様お一人お一人の「声」を市政にお届けし、佐野市の良き次代を築くため、「現場第一主義」のモットーを掲げて、直面する喫緊の課題に全力で取り組んでまいります。



横井 帝之

① 新風

② 浅沼町 8 3 1 1

③ (21) 2 8 4 2

④ 昨年は3回7箇所の行政視察を経験させていただき、定例会では、毎回の3度の一般質問を経験させていただきました。これらの経験をしっかりと活かし、より積極的な活動に努めてまいります。具体的には、より一層皆様の声に耳を傾け、しっかりと寄り添いながら市政と向き合っていくまいります。これから更に時代の流れが早くなってまいります。アンテナを高く伸ばし、これからの少子化、超高齢社会、の活路を見出してまいりたいと思っております。



早川 貴光

① 会派に属さない議員

② 天神町 7 2 0

③ (23) 3 9 1 1

④ 少子高齢化、人口減少問題と！暮らしやすく、住みやすい生活環境の整備に全力で取り組みます。あわせて現在、市が取り組む様々な定住促進事業を活性化させてまいります。さらに、ICTを活用しながら、観光立市、スポーツ立市、産業・文化立市を中心に佐野の魅力をより一層磨き上げ、情報発信をするとともに、市民の皆様とも双方向に情報を共有しながら、様々な課題解決に向けて取り組んでまいります。



小倉 健一

① 会派に属さない議員

② 出流原町 2 1 2 0

③ (25) 0 4 1 0

④ 美しいまち「佐野」。昨年、全国山城サミットが唐沢山にて盛大に開催されました。光る高石垣に誇りと佐野市の礎を確かめることができました。本市にはこのような魅力が多く残されていることへ感謝の念を持ち、これからの佐野市に何が必要なのか、みなさまのお声をしっかりと捉え、政治活動に努めてまいります。本年は第2次総合計画基本構想十二年間のスタートの年。ますます人が輝き美しいまち「佐野」となるよう邁進致します。



金子 保利

① 会派に属さない議員

② 高萩町 1 2 0 6 1 6

③ (22) 2 2 3 9

④ 佐野市の街づくりは、未整備地域にお住いの方の住環境の整備をすることが何より第一義であらうと思えます。そして、応分の税負担をしておられる住民に「佐野」に住んで良かったと思われる街づくりに見合った財源を投入し、究極の手法である「やわらかい土地区画整理事業」を事業化することによって、公園や狭隘道路の拡幅、隅切りが設けられ、私道の整備も推進されます。このような市民の街づくりに取り組んでまいります。



亀山 春夫

① 政友みらい

② 船越町 1 7 1 8 1 1

③ (62) 3 2 6 2

④ 近年の異常気象による大雨土砂災害や台風などかつてない災害が頻発しております。昨年10月には台風が2つ接近し佐野市内でも大きな災害が発生しております。三杉川の越水や旗川の堤防の決壊などかつてない災害が発生しております。常日頃より地域と行政が協力し避難訓練や防災知識の普及推進を図るとともに、ハザードマップで自分たちの住む地域の危険性を周知し、いざと言う時のための準備などの広報推進を図ります。



小暮 博志

① 政友みらい

② 馬門町 1 5 9 7

③ (23) 8 2 6 3

④ 新年に当たり思うことは、『蒔かぬ種は生えぬ』『現状維持は後退』という言葉です。常に新しいことを行っていないと、どんどん縮小して行き、今まで出来たことが出来なくなるということなのです。

佐野市においては、インランドポートの発展、北関東沿線開発と企業誘致の促進、国際クリケット活動の推進、小中一貫校の推進、都市計画や道路整備の推進等を積極的に進め、経済の活性化と安全で住みよい街をめざして邁進します。



若田部 治彦

① 公明党議員会

② 奈良渕町 6 7 0

③ (21) 2 8 5 1

④ 本市におきましても「少子高齢化」・「人口減少社会」問題について新たな施策の取り組みが不可欠です。佐野市で働き、家族を形成して子どもを産み育てる環境を構築しなければなりません。さらに若者を引き寄せる魅力ある拠点都市の整備を進める必要があります。それぞれの地域の恵まれた自然環境や首都圏近県などの良さを様々なツールで情報を発信していかなくはなりません。今後ともさらに住み良い街づくりを目指してまいります。



横田 誠

① 新風

② 栃本町 2 3 3 1-3

③ (62) 1 0 8 6

④ 人口減少社会の時代には多くの困難があります。しかしその困難の中にこそ新しい発想の種があり、そこから得た発想こそ、社会をより良く変化させるチャンス、の兆しとなるはず。その考えのもと、社会にある多くの困難と向き合い、果敢に挑むことで佐野市の発展に貢献していく所存です。そこで第2次総合計画の前期基本計画のスタートに際し、教育環境の整備、子育て・福祉の充実、躍動感ある産業の推進に更に力を注いでまいります。



田所 良夫

①新風

②赤見町 3 2 5 6

③(25) 0 2 3 3

④人口減少、世帯数増加、核家族化時代の到来であります。そんな中、思い起すのは私たち親の時代であります。兄弟は多く、親、子、孫、三世代交流大家族であります。貧しい中にも家族愛、兄弟愛、地域愛のぬくもりの社会でありました。今こそ温故知新、故きを温ねて新しきを知る文化立市宣言さの、であります。新しき生活文化への挑戦元年の年としてこの輪を広げていきたいと心新たに歩んでまいりたいと思えます。



久保 貴洋

①蒼生会

②閑馬町 1 6 6 9

③(65) 0 3 1 0

④佐野市の産業振興に対して建設的な提言、提案をしております。特に中山間地域の産業であります。特に中山間地域の産業であります。農林業の振興に向けて新たな支援事業に取り組んでまいります。また、中山間地域の豊かな自然と食文化、伝統文化を最大限に活用し、佐野市の新たな観光資源として全国に発信していきます。国、県、市と連携を取り、減災対策に取り組み、危険箇所の早期な改善を行い、今以上に行政と一体になり市民サービスの向上に努めます。



鈴木 靖宏

①蒼生会

②越名町 3 1 3

③(87) 4 1 1 5

④庁舎建設をはじめ、各行政センターの整備や消防庁舎及び関連施設の整備等、また、市内初等の義務教育学校新設や保育所等の教育関連施設整備計画が予定されています。各施設の利活用は勿論であります。維持管理費等の経費の高騰が懸念されますが適正管理で市民に活かされた施設運営を実施します。本年の指針は、将来の佐野市を担う子供達への財政の投資を最優先課題として取り組み、市政運営に効果と結果の見える議員活動をおすすめします。



岡村 恵子

① 日本共産党議員団

② 富岡町 1 3 8 1 2

③ (24) 2 7 3 8

④ 新春を迎え、みなさんいかがお過ごしでしょうか。安心できる医療・介護・福祉を多くの方が望んでいます。そして、災害に強いまち、子どもたちが生きいきと伸びるまち。循環バスの充実も切実です。労働者のみなさんや中小業者のみなさんの頑張りに答えて、「住んでよかった」といえるそんな佐野市をつくってまいります。みなさんの願いに寄りそって、多くの方と力を携えて今年も頑張ります。



鶴見 義明

① 日本共産党議員団

② 会沢町 5 3 6 1 1

③ (85) 3 6 8 7

④ 全国的に少子・高齢化、人口減少が問題となり地方創生の取り組みがなされています。人口減少は同時に就労人口にもつながり、当然税収も減収が予想されます。限られた財源の中で市民の暮らしをいかに守ることができるのか議会も問われてきます。まち・ひと・しごと地方創生事業は、近隣の自治体を競い合わせます。同様の政策では勝ち抜けません。佐野市だからできる特徴あるまちづくりのため全力を尽くします。



山菅 直己

① 政友みらい

② 葛生西 3 1 1 2 1 7

③ (85) 2 6 4 5

④ 人づくり・夢のもてる街づくり・心の通い合える街・社会づくりをモットーに、市民の皆様と共に活動してまいります。今年第2次総合計画が策定されます。財政の厳しいなか住みよい街づくりの推進を図ると共に、中山間地域の活性化、地の利を活かし企業を誘致し雇用の創出。少子化対策に産み子育てできる事業の支援・教育環境の整備・福祉・医療体制の確立に努め、安全で安心して暮らせる住みたくなる環境づくりを進めます。





篠原 一世

① 政友みらい

② 下羽田町 1 0 3 1 1 3

③ (22) 6 0 1 7

④ 第2次佐野市総合計画基本構想が示されました。今後12年間の佐野市作りであります。最重要課題であります、少子高齢化対策として定住促進を推進テーマとしております。課題遂行では子育て支援、雇用の確保、地域医療の確保、公共交通の全市網羅、インフラ整備等、社会環境の充実で安全安心のまちづくり、人口減少に伴う財源の確保、集中と選択による持続可能な市政運営等、未来に希望と夢の持てる佐野市作りを頑張ります。



春山 敏明

① 新風

② 赤坂町 6 5 1 4

③ (24) 0 3 7 4

④ 明治維新から150年。志を抱いた人々が近代化への扉を開き、その後、終戦により民主化、経済大国となった日本。今、世界が利己的・排他的になる中、命・生活・経済が脅かされつつあります。少子高齢化、人口減少問題にも一刻も早く考えられる対策を打たなければなりません。本市は、まち・ひと・しごと創生総合戦略等による、働いて住むなら、子育てするなら佐野市の第2次総合計画策定を進めています。輝く佐野市のために尽力します。



飯田 昌弘

① 蒼生会

② 堀米町 8 1 1 7

③ (22) 8 5 2 3

④ 急速に進行している人口減少や少子高齢化社会、全国各地における大規模災害の発生による安全・安心に対する不安意識の高まりなど、大きく変化する社会環境に対応し、次世代に誇りをもつてつないでいく佐野市をつくるため、健康・医療・福祉の充実、安全・安心・快適な住環境の整備、子育て・保育・教育環境の充実を重視し、時代に合った地域をつくり、みなさんが安心して暮らせるように全力投球いたします。

① 蒼生会  
 ② 仙波町 2845  
 ③ (85) 3054  
 ④ 市議会の役割は地方創生時代  
 到来の中、行政チェック機能だ  
 けではなく、政策提言や、情報  
 発信により市民の皆様の負託に  
 応える事が重要です。自然災害  
 を減少させる森林環境の保全。  
 少子化にも対応する義務教育校  
 の新設と教育の充実。市民病院  
 の民間譲渡による地域医療の充  
 実と継続。増え続ける鳥獣と被  
 害防止対策の更なる強化。空き  
 家対策による移住・定住の促進。  
 中山間地活性化など安全・安心  
 の街づくりに取り組んでまいり  
 ます。



高橋 功



佐野ブランドキャラクター さのまる

**議員の年賀状等  
 あいさつ状は  
 法律により禁止  
 されています**



議員は、公職選挙法の規定  
 により、選挙区内の方に年賀  
 状等のあいさつ状（答礼のた  
 めの自筆によるものを除きま  
 す）を出すことは禁止されて  
 います。

皆様のご理解をお願いいた  
 します。

※表紙絵は笹川むもん氏の作品です。

笹川むもん(育也)氏のプロフィール

PROFILE

- 1954 栃木県佐野市に生まれる
- 1972 三代目加茂蕃山に師事 富山県井波町(現・南砺市)
- 1979 日展 初出品初入選以後連続15回入選〜'94まで出品
- 1984~86 日彫展 奨励賞連続3回受賞
- 1986 富山県美術展 県展大賞受賞
- 1987 日彫展 日彫賞受賞
- 1993 ポーランド石彫ワークショップ招待(グダニスク)
- 1997 第26回現代日本美術展 佳作賞受賞  
マロニエ文化賞受賞
- 1999 第14回国民文化祭・ぎふ彫刻コンクール 文部大臣賞  
受賞
- 2001 木彫展とミクストメディア展(佐野市)
- 2002 第5回至高の精神展「興廃風雅」
- 2003 トリエンナーレ2003神通峡美術展 大賞受賞
- 2006 となみ野美術展2006 となみ野美術大賞受賞  
第45回アートナウKANAZAWA 中日大賞受賞
- 2007 全国木彫刻コンクール井波  
いなみ国際木彫刻キャンプ賞受賞
- 2010 笹川むもん彫刻展「MUMONISM！」
- 2013 笹川むもん彫刻展「四十年目の帰省」(佐野市民ギャラ  
リー(佐野未来館2階))
- 2017 全国木彫刻コンクール井波 南砺市長賞受賞  
エラスムス像の複製を制作  
現住所：富山県南砺市井波2514-2

# エラスムス像の複製を笹川むもんさんが制作しました

佐野市上羽田町の龍江院（大沢光法住職）が所有する国指定重要文化財「木造エラスムス像」の複製を笹川むもんさんが制作しました。11月18日の発表会には岡部正英市長や市民ら約300人が出席し、笹川さんによる特別講演などが行われました。



「エラスムス像」とは・・・  
オランダから東洋に向け出発した船団の1隻リーフデ号の船尾像。リーフデ号は1600年に現在の大分県に漂着しました。

## 佐野市議会ホームページから 議会の映像を生中継や録画により配信しています

※ 録画は、行われた会議の翌日（土日、祝日を除きます）からご覧いただけます。  
（4年間保存）



**クリック**









### 佐野市議会 議会中継

ライブ中継
議員名から選ぶ
会議名から選ぶ
一般質問の語句から選ぶ



■ 動画の再生にはFlash Playerが必要となりますので、ダウンロードは下記URLから行ってください。  
<http://get.adobe.com/jp/flashplay>  
※本製品は以下の環境で動作確認をしております。











FAXEL  
(21) 4411  
(20) 3036

【議会事務局】  
委員 田所良夫  
委員 川嶋嘉一  
委員 木村久雄  
委員 久保貴洋  
委員 小暮博志

【編集委員会】  
委員長 小暮博志

我が家では、年末に餅米を薪を燃やしてふかし、杵でついてお供えの物を作っています。このとき、餅米がふけるまでには、新しい薪を何回も入れ続けなければなりません。

佐野市が大きく発展していくためには、一人一人がこの様な新しい薪である火になることが大切であると思っております。

私たち議員も、色々な機会を通して、皆さんの意見をお聞きしながら、共に行動してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

（小暮博志）



議会からこんにちは 2018.1.1 ①